


## 【作り方説明書】

ノーマルカーディガンの型紙

<p>■詳細対応サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・50cm ソフビ</li> <li>・58cm ソフビ M,L,LL</li> </ul> <p>※L,LL は一番上のボタンのみを留めた場合だけ対応 (スマド未確認)</p>	<p>■難易度</p> <p>イージー / 【ノーマル】 / ハード / ハード↑ / エクストラ</p>
<p>■サンプル使用生地 of 厚み</p> <p>0.77mm</p>	<p>■用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニット等のストレッチ性のある布</li> <li>・ニット用の糸</li> <li>・ニット用の針</li> <li>・スナップボタン</li> <li>・飾りボタン</li> </ul>
<p>■手縫い可否</p> <p>OK</p>	<p>■注意事項</p> <p>布の伸び具合によっては、LL は着られない場合があります。LL に着せたい場合は良く伸びる布を使用して下さい。伸びない布を使うと、どのサイズでも着用不可になりますのでご注意ください。</p>
<p>■布に書き写すパーツリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①②前身頃 2枚→左右反転して2枚</li> <li>③裾 1枚→そのまま1枚</li> <li>④⑤袖口 2枚→そのまま2枚</li> <li>⑥後身頃 1枚→そのまま1枚</li> <li>⑦⑧袖 2枚→左右反転して2枚</li> </ul> <p>合計：8枚 のパーツで構成</p>	
<p>■必要な布量参考数値</p> <p>ノーマルカーディガンの型紙【50cm】 横90cm, 110cm, 140cm</p>  <p>縦22cm</p>	

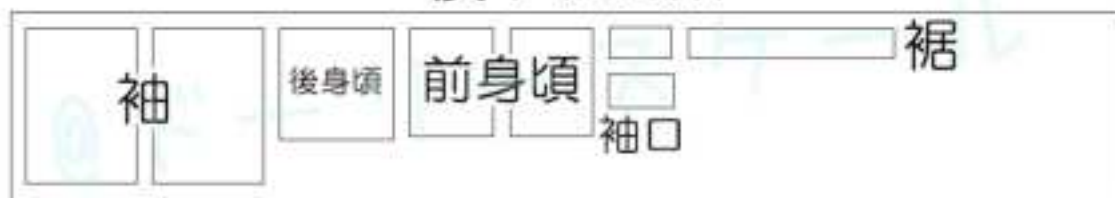
## ノーマルカーディガンの型紙【58cm】 横90cm, 110cm

縦25cm



## ノーマルカーディガンの型紙【58cm】 横140cm

縦24cm



### 01. 型紙を貼り合わせる

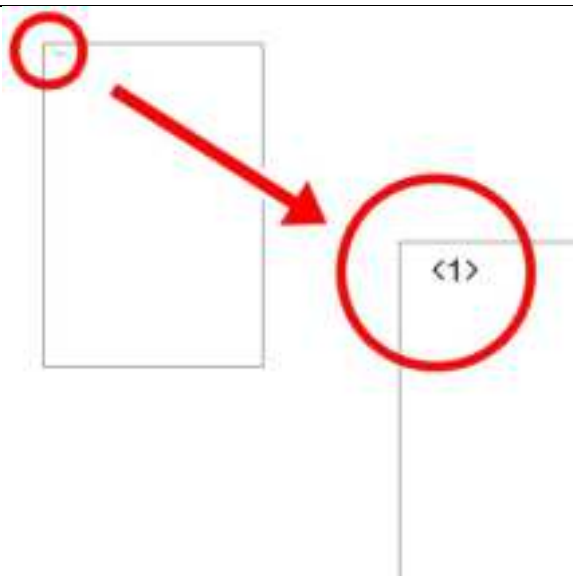
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

（番号は型紙の左上に記載

※①～④の右図は全型紙共通で使用しています。

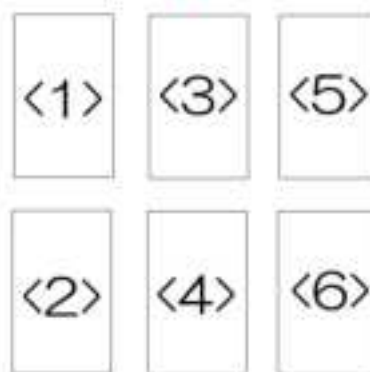
型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。

枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。

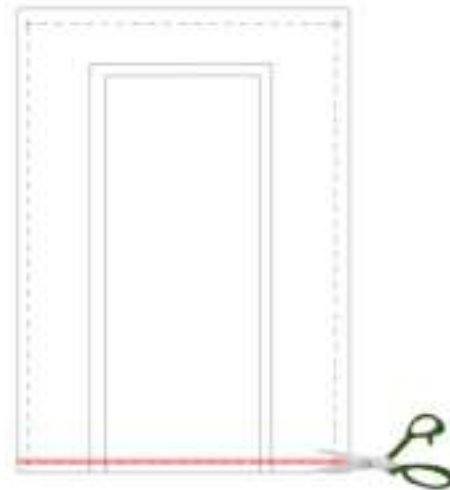


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

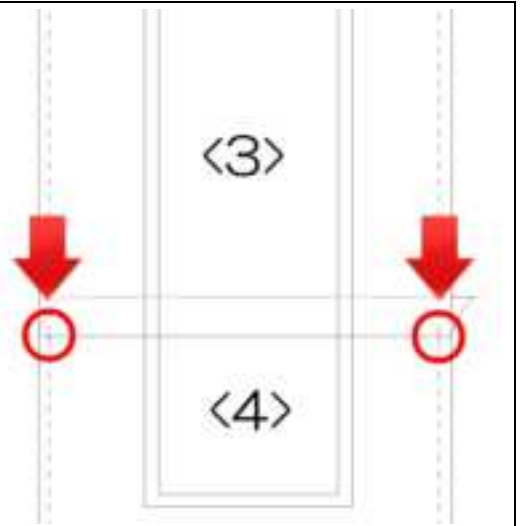
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

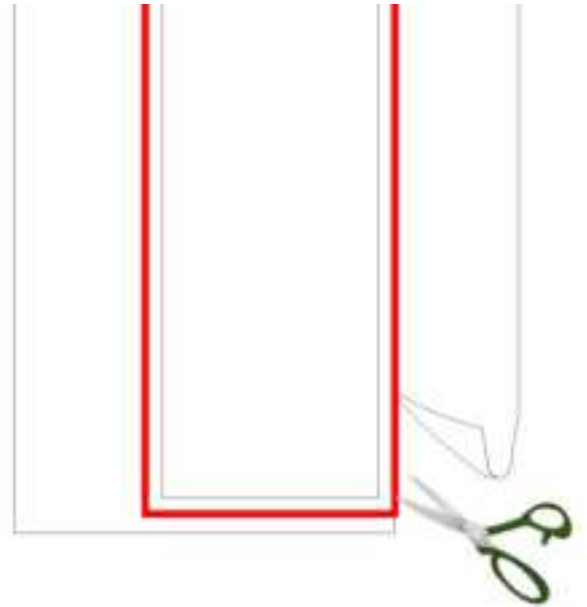


④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、  
表裏両方をテープで留める。



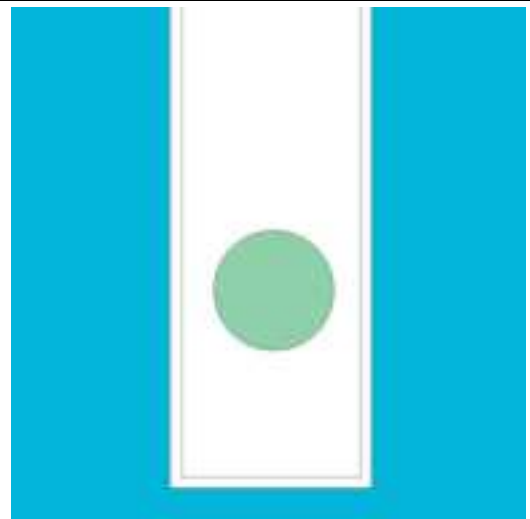
02. 型紙を切り取る。

〔 02~07 の右図は全型紙共通で使用  
しています。〕



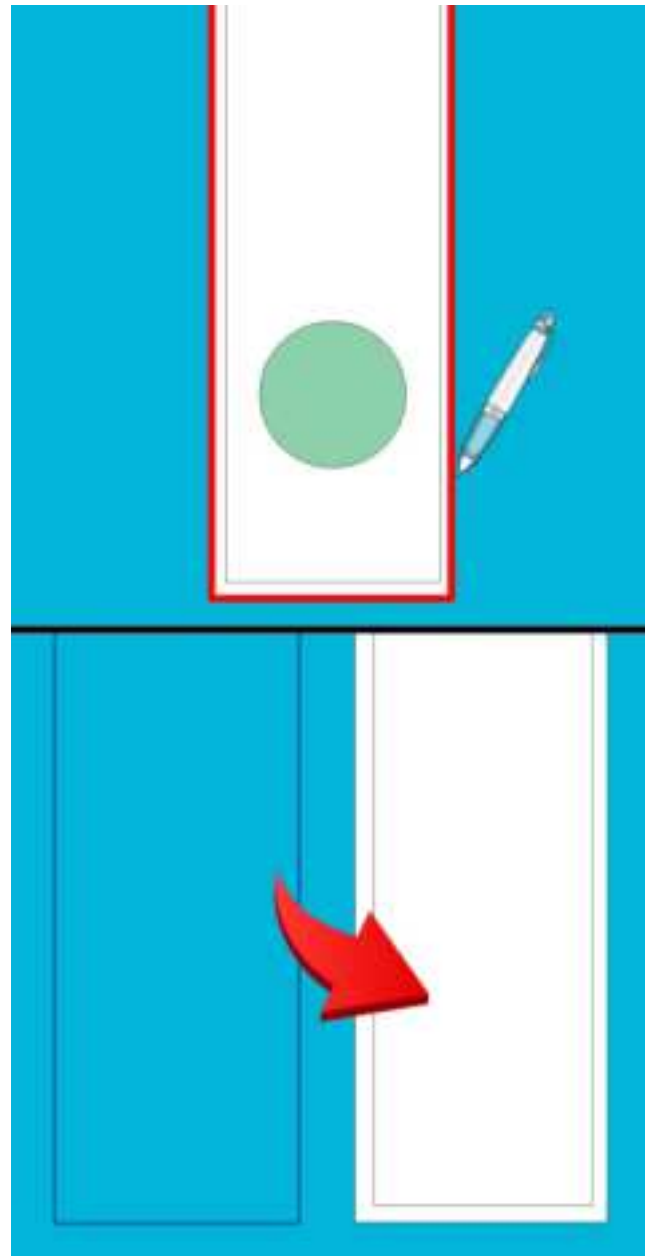
03. 布を裏にして型紙を置く。

〔 まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動  
かない様にする。〕

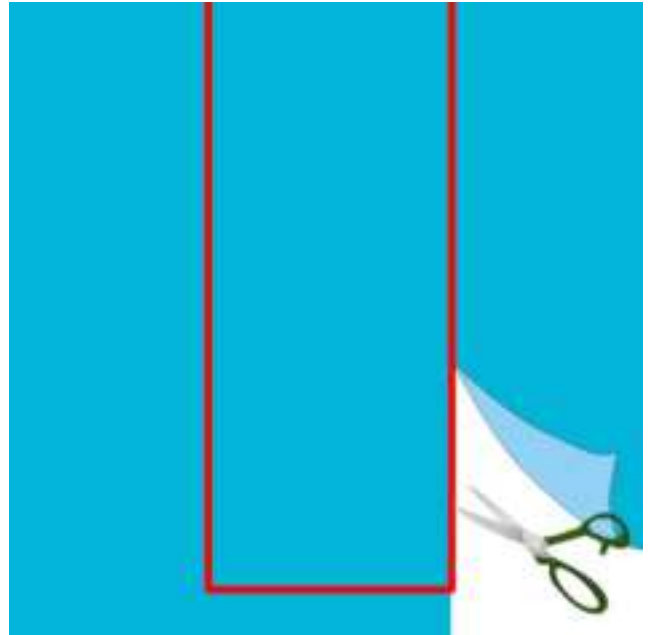


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

- ※オススメのチャコペン
- ・カリスマシャープペンシル(使用中)
  - ・クロバー 水性チャコペン

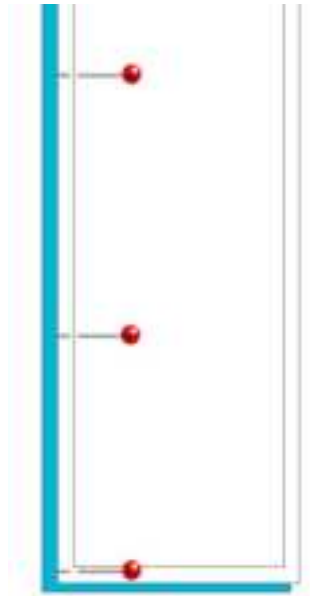


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔型紙と布がずれないようにするだけなので、  
細かくとめる必要はない。〕



## 07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

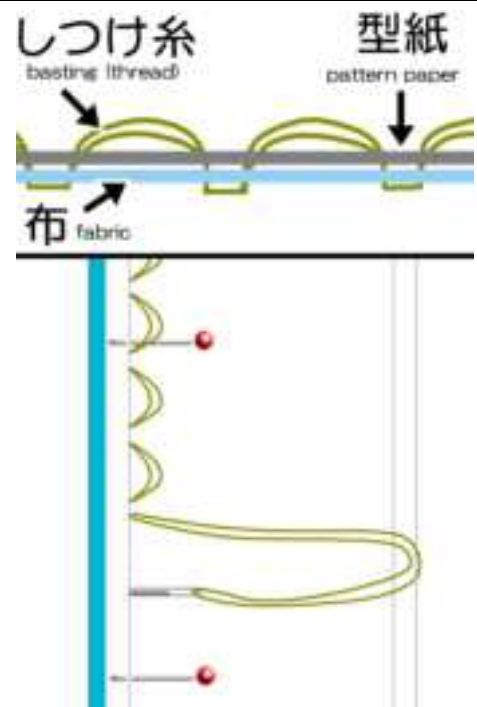
- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。  
〔玉止めはしない。〕



- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

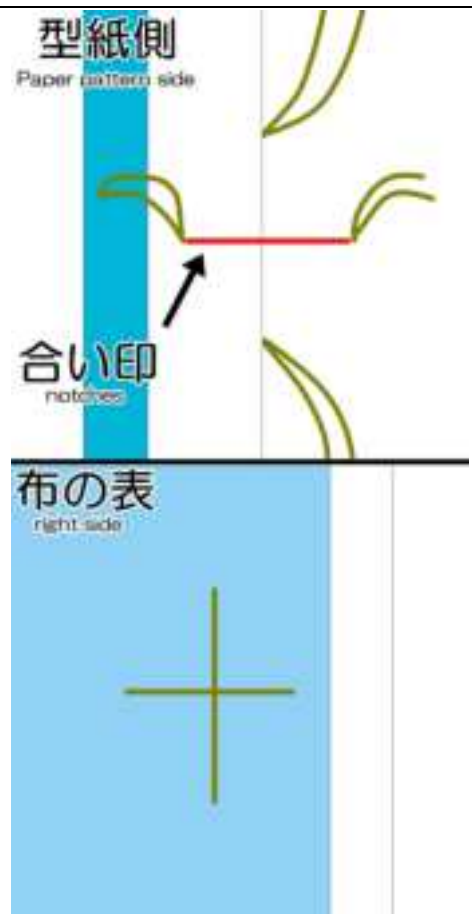
- A. 型紙から刺す  
B. 布を刺す  
C. 0.3cm 程度すくうように縫う  
D. 型紙を刺す  
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す  
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。  
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て  
+ に見えるように針を刺す。





④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

〔糸を抜き取らない様に注意。〕



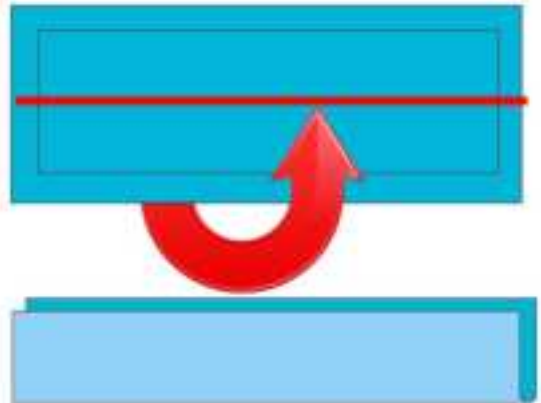
⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。



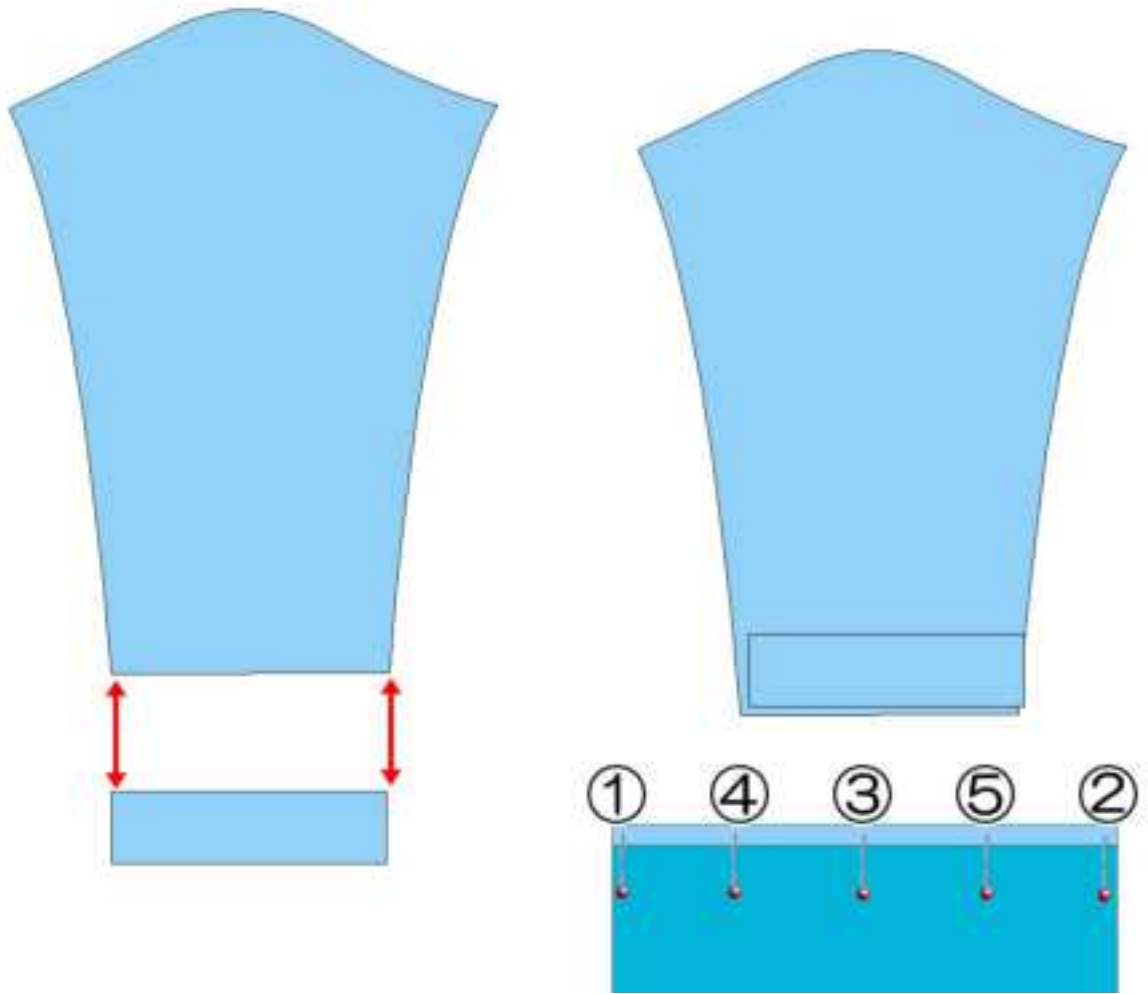
08. ミシンの針と糸をニット用に替える。




09. 袖口×2 を中心で折る。

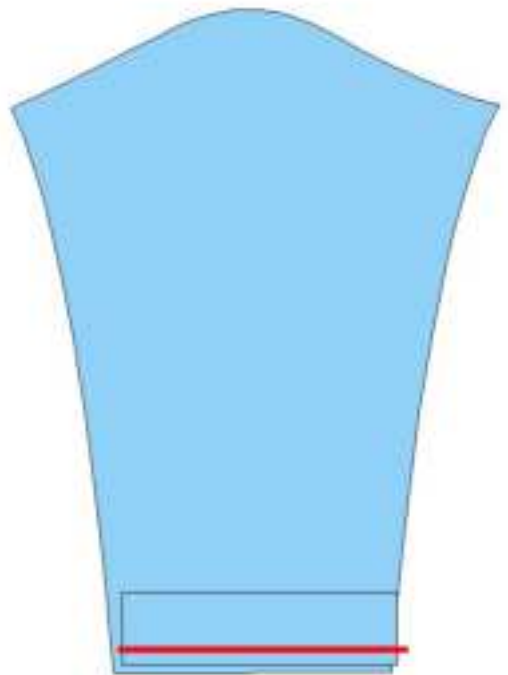


10. 袖×2 に09で折った袖口を合わせる。



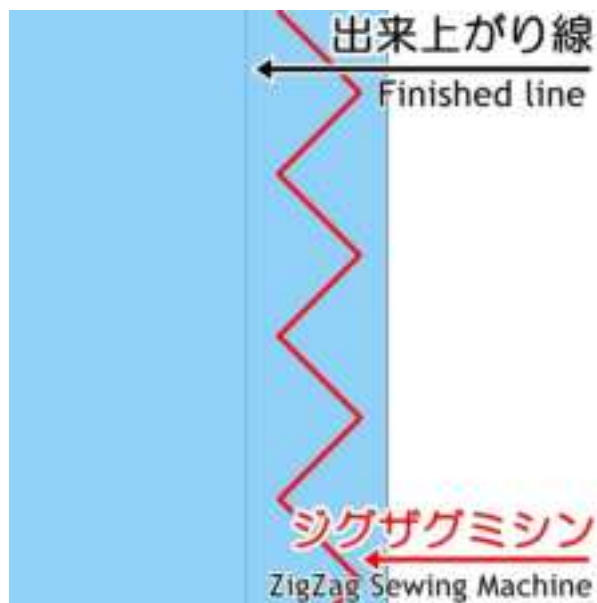
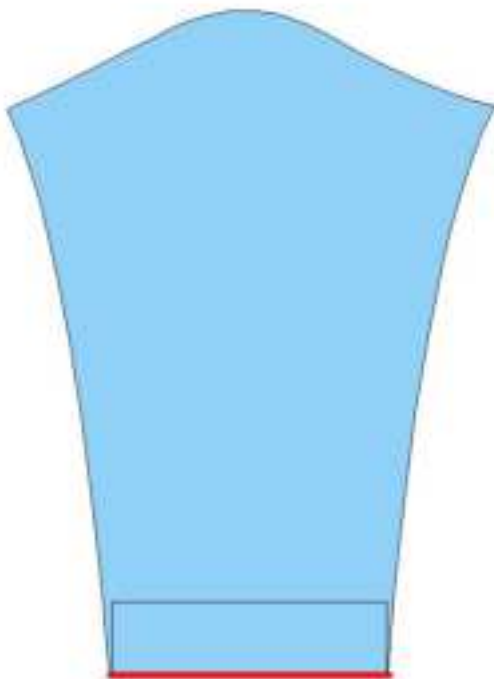
11. 10で止めたところを縫う。

 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。  
 反対側も同じように縫う。



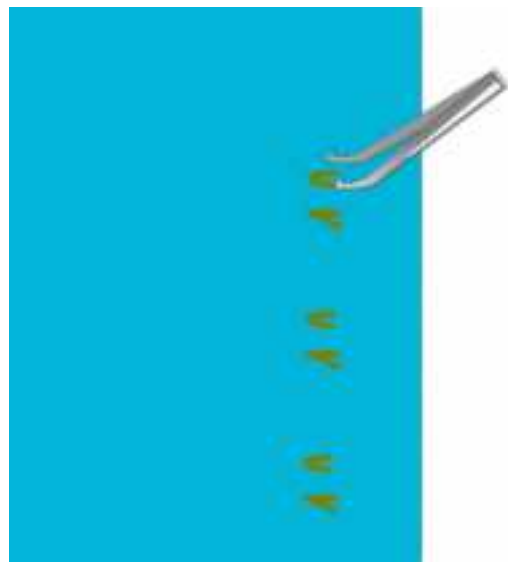
12. 袖口×2の縫い代に、  
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

家庭用ミシンの縫い目を左図にする。  
布端から針が落ちないように、少し内側を縫う。



13. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。  
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。



14. 表が内側になる様に、前身頃と後身頃の肩を合わせて縫う。

〔 SNP：サイドネックポイント。肩の首の付け根。

SP：ショルダーポイント。肩の頂点。

〔 反対側も同じように縫う。



15. 肩を2枚一緒にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。

〔 反対側も同じように縫う。



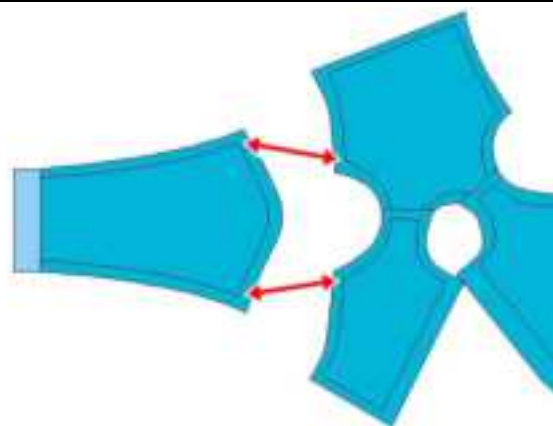
16. 表が内側になる様に、袖と袖ぐりを合わせて縫う。

〔 ミシンで縫い辛い場合は先に仮縫いをするか、

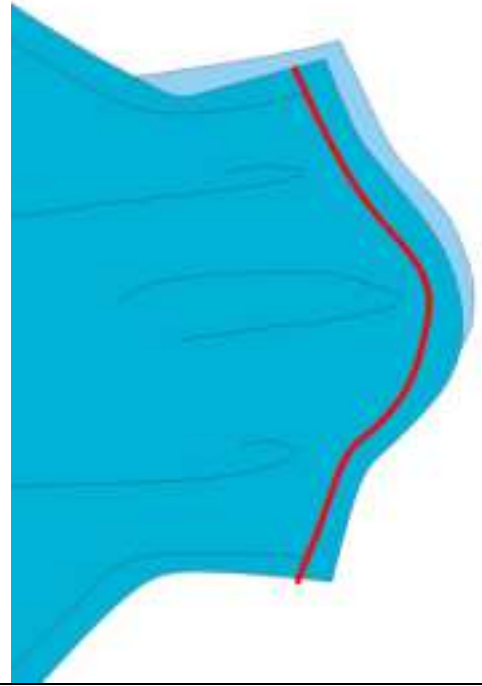
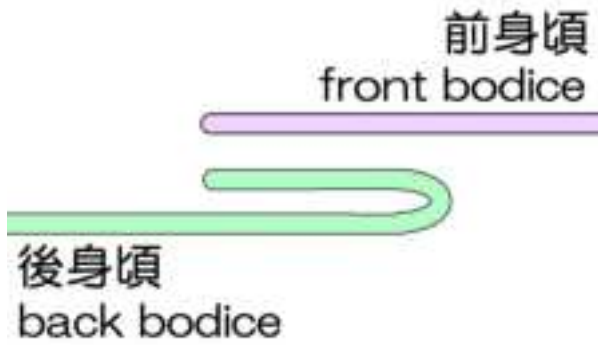
手縫いでもOK。

肩の縫い代は後身頃側に倒す。

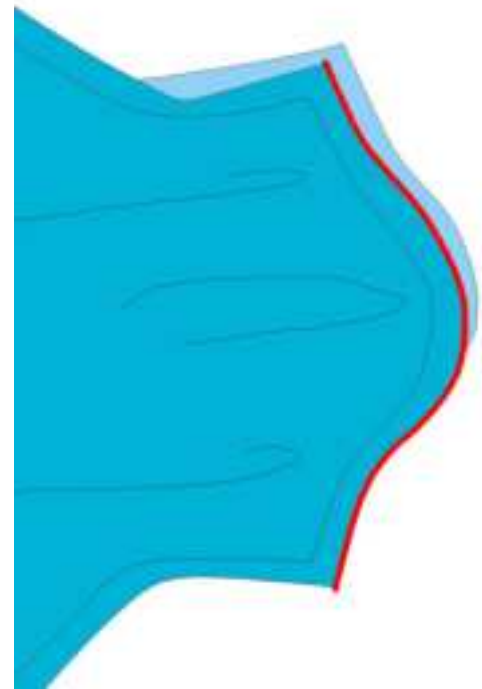
〔 反対側も同じように縫う。



横から見た時  
Side view



- 
17. 縫った所をロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。  
〔袖と身頃を一緒に縫う。〕



18. 裾から袖口までを縫う。

- 〔 袖ぐりの縫い代は袖側に倒す。〕
- 〔 反対側も同じように縫う。〕



横から見た時

side view

身頃  
bodice

袖  
sleeve

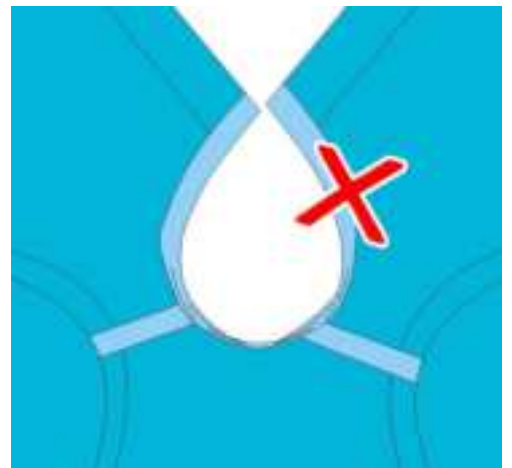
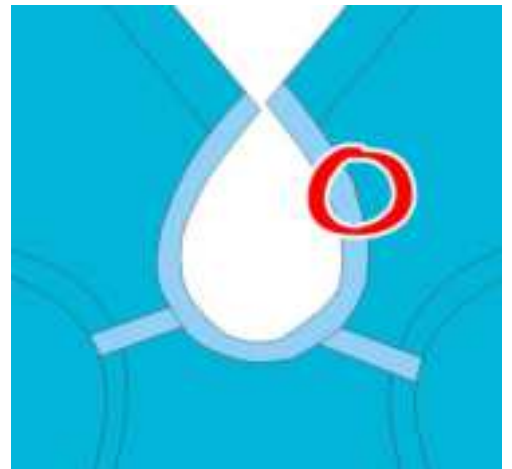
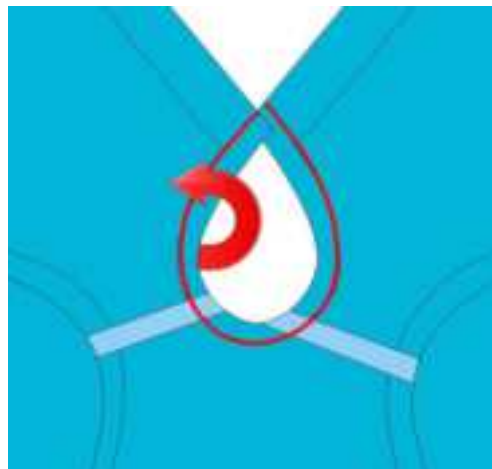


19. 縫った所を2枚一緒にロックミシンか、  
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

- 〔 反対側も同じように縫う。〕

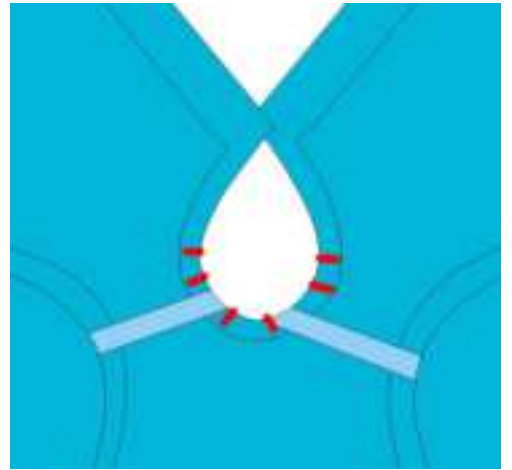


20. 襟ぐりを出来上がり線で折り、  
生地が突っ張っていないか確認する。



21. 縫い代が突っ張っている場合は、襟ぐりのカーブに切り込みを入れる。

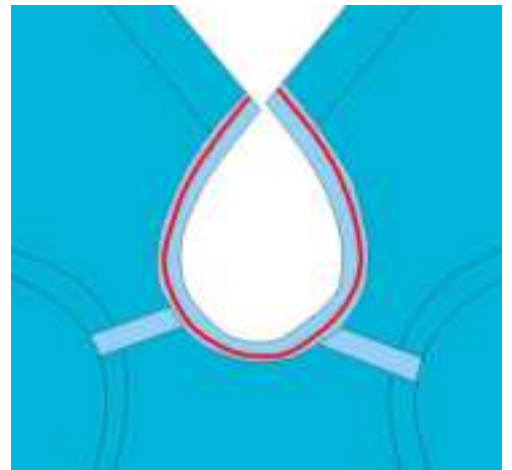
〔縫い代が突っ張っていない場合は、22へ。〕



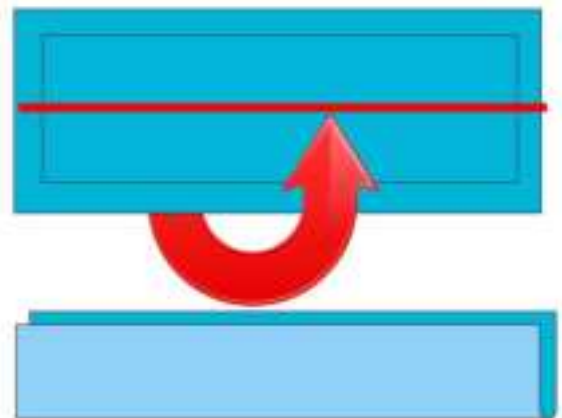
22. 襟ぐりにロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。



23. 襟の縫い代を折って縫う。

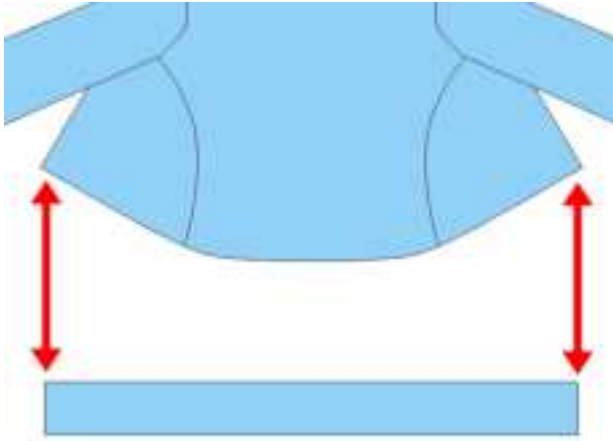


24. 裾を中心で折る。





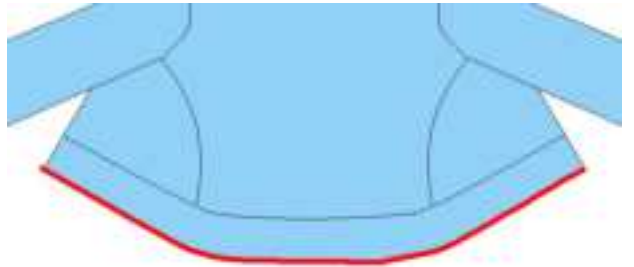
25. 身頃に 24 で折った裾を合わせる。



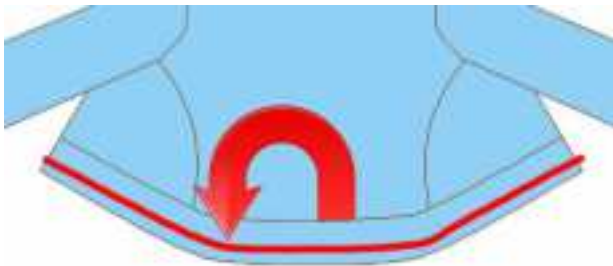
26. 合わせた所を縫う。



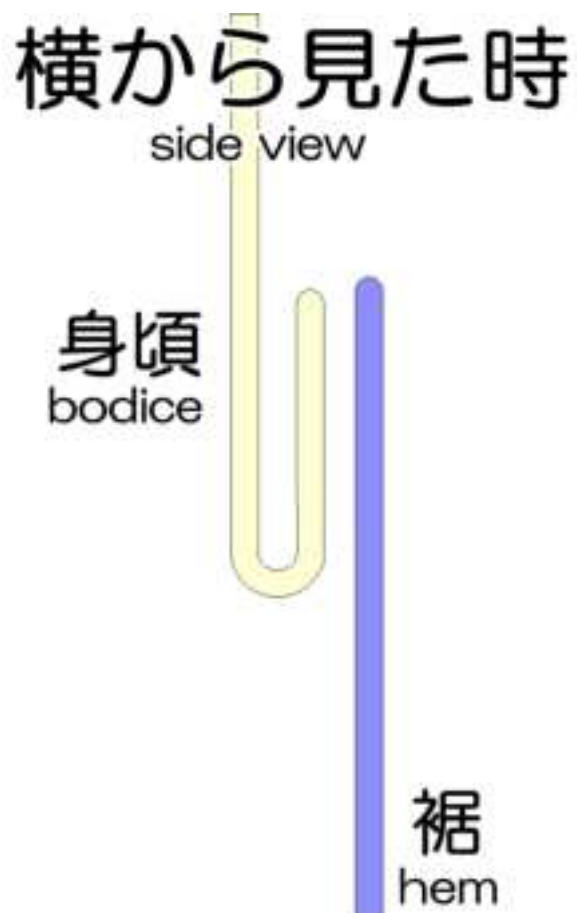
27. 縫った所をロックミシンか、  
家庭用ミシンのジグザグで縫う。  
〔裾、身頃一緒に縫う。〕



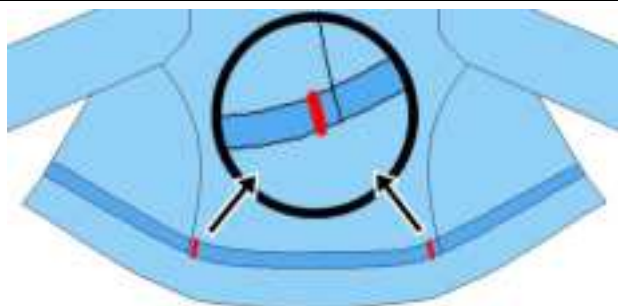
28. 裾を折り返す。



29. 裾の縫い代を身頃側に倒す。



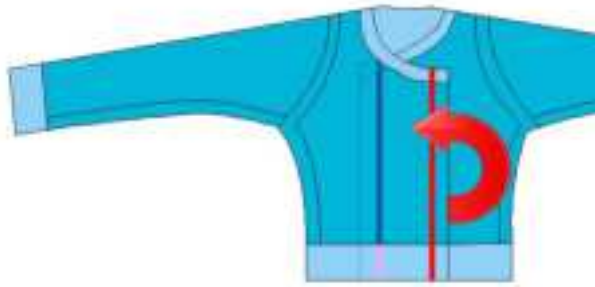
30. 裾の縫い代を後身頃に縫い付ける。



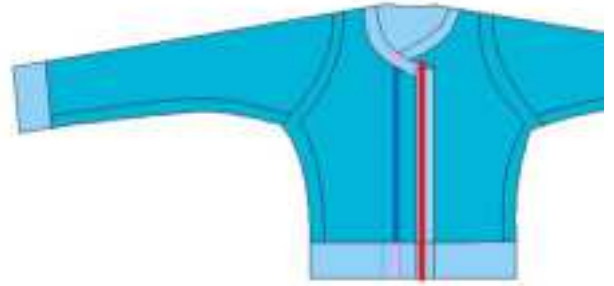
31. 前身頃の縫い代にロックミシンか、  
家庭用ミシンのジグザグで縫う。



32. 前身頃の縫い代を折る。



33. 縁から 0.7cm くらいを縫う。

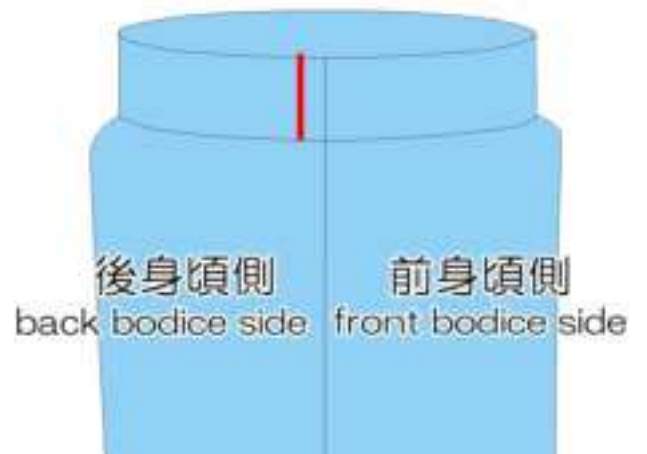


34. スナップボタンを付ける。

〔 胸の大きいボディは一番上のみが奨励。〕

35. 袖口の縫い代を後身頃側に倒して、縫う。

〔 反対側も同じように縫う。〕



お疲れ様でした！